

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年10月6日)

| 項 目 | ページ |
|--|-----|
| ■ 農林水産部試験研究課題に係る令和7年度外部評価の結果について 【農林水産政策課】…………… | 2 |
| ■ 鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について 【経営支援課】…………… | 4 |
| ■ 米の価格動向について 【生産振興課、食パラダイス推進課】…………… | 5 |
| ■ 日本海ズワイガニ五府県PR協議会の発足について 【水産振興課、漁業調整課】…………… | 6 |
| ■ 「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について 【食パラダイス推進課】…………… | 7 |
| ■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】…………… | 9 |

農 林 水 産 部

農林水産部試験研究課題に係る令和7年度外部評価の結果について

令和7年10月6日
農林水産政策課

外部の有識者による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ることを目的として、試験研究課題について外部評価を行いましたので、報告します。

1 外部評価委員会

- (1) 実施日 9月3日(水)
- (2) 実施場所 園芸試験場 大会議室
- (3) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計10名

2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
 - ア 来年度から取組もうとする研究課題(事前評価対象 10課題)
 - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 6課題)
- (2) 評価結果の概要
 - ア 事前評価課題 9課題は、研究を実施すべき。1課題は、研究内容・方法を見直して実施すべき。
 - イ 中間評価課題 6課題すべて、研究を継続すべき。
- (3) 試験研究内容に関する委員の主な意見
 - ア 評価の高かった研究課題

| 試験場 | 研究課題名 | 委員意見 |
|-----------------|--------------------------------|--|
| 農業試験場 (事前) | 異常高温に対応しつつ「星空舞」の生産性をさらに向上させる研究 | 昨今の温暖化に対応すべく管理手法の見直しを行う意図があり、重要性及び緊急性がある。 |
| 林業試験場 (事前) | 県産材と県産木質材料を用いた新規構造体の開発に関する研究 | 県産材の有効活用を図るものとして意義がある。共同研究を行っている米子高専との連携により、ぜひ研究を進めてほしい。 |
| 畜産試験場 (事前) | 鳥取県におけるスリック牛の暑熱耐性能力の検証 | 暑さが牛にストレスを与え、生育状況に大きく影響しているため、暑さに強いスリック牛の繁殖を進めるべき。 |
| 中小家畜試験場 (事前) | 「大山ルビー」の遺伝資源戦略的保存プロジェクト | ブランド確立のためには、万が一の時の為にも遺伝資源保存は不可欠。持続可能な生産体制を確立してほしい。 |
| 水産試験場 (事前) | すくい網によるシラス漁獲時のサイズ選別方法の開発 | 光の誘導でシラスを選別出来るのは画期的。生産者の安定した収入に繋がるよう研究は必要。 |
| 園芸試験場 (中間) | 園芸産地の今と未来を見据えた病害虫防除対策 | 病害虫防除は引き続き重要性が高い。新たな駆除方法やスマート農業を活用し、生産ロスを減らせるようにしてほしい。 |

イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

| 試験場 | 研究課題名 | 委員意見 |
|---------------|----------------------------------|---|
| 林業試験場 (事前) | 天然更新完了基準における短命な高木性先駆樹種の取扱いに関する研究 | 短命な高木性先駆樹種が適正なのかを検証し、鳥取県の天然更新完了基準を明確にして森林管理のし易さに繋げてほしい。 |

3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言を踏まえながら、試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様に試験研究の周知と理解促進を図る。

【別紙】

農林水産部試験研究機関の試験研究に係る外部評価委員会 評価結果

| 試験場 | 区分 | 試験研究課題名 | 試験期間 | 合計点 (15点中) | 総合評価 |
|-------------|----|----------------------------------|--------|---------------|------|
| 農業 試験場 | 事前 | 異常高温に対応しつつ「星空舞」の生産性をさらに向上させる研究 | R8～R10 | 13.0 | ◎ |
| | | 気候変動に対応した水田転作野菜の栽培手法に関する研究 | R8～R12 | 12.0 | ◎ |
| | 中間 | 水田農業経営の効率化に関する調査研究 | R5～R9 | 12.5 | ◎ |
| | | 有機・特別栽培技術開発試験 | R5～R9 | 12.3 | ◎ |
| 園芸 試験場 | 中間 | 園芸産地の今と未来を見据えた病害虫防除対策 | R5～R9 | 13.2 | ◎ |
| | | 地球温暖化に対応した白ネギの安定生産技術と弓浜特産野菜の栽培改善 | R5～R9 | 13.0 | ◎ |
| 林業 試験場 | 事前 | 人工林の針広混交林化に向けた管理手法の確立 | R8～R12 | 12.5 | ◎ |
| | | 持続可能な森林づくりのための適地適木マッピング判定技術の開発 | R8～R10 | 12.3 | ◎ |
| | | 天然更新完了基準における短命な高木性先駆樹種の取扱いに関する研究 | R8～R12 | 11.8 | ○ |
| | | 県産材と県産木質材料を用いた新規構造体の開発に関する研究 | R8～R12 | 13.3 | ◎ |
| | 中間 | 県産材における丸太段階での強度推定手法の開発 | R8～R10 | 13.0 | ◎ |
| 畜産 試験場 | 事前 | 鳥取県におけるスリック牛の暑熱耐性能力の検証 | R8～R12 | 13.3 | ◎ |
| 中小家畜 試験場 | 事前 | 「大山ルビー」の遺伝資源戦略的保存プロジェクト | R8～R10 | 12.3 | ◎ |
| | 中間 | 「鳥取地どりピヨ」の遺伝資源復元技術の確立 | R5～R8 | 12.0 | ◎ |
| 水産 試験場 | 事前 | すくい網によるシラス漁獲時のサイズ選別方法の開発 | R8～R9 | 13.0 | ◎ |

| 平均値 | 事前評価 | 中間評価 |
|-------------|-------------------|-------------------|
| ◎:12点以上 | 研究を実施する。 | 研究を継続する。 |
| ○:9点以上12点未満 | 研究内容、方法を見直して実施する。 | 研究内容、方法を見直して継続する。 |
| ×:9点未満 | 実施を見合わせる。 | 研究を中止する。 |

| | 評価項目 |
|----------|--|
| 事前 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究ニーズ・緊急性(5点満点) ・研究計画・目標の整合性(5点満点) ・生産者・消費者への波及効果(5点満点) |
| 中間 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要性・社会情勢の変化への対応(5点満点) ・進捗状況及び達成見込み(5点満点) ・生産者・消費者への波及効果(5点満点) |

鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について

令和7年10月6日
経営支援課

9月6日に伯耆町において農作業死亡事故が発生しました。鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会は死亡事故の発生を受け、2か月連続の死亡事故であることから「鳥取県農作業死亡事故多発警報」を発令し、緊急かつ重点的な啓発活動を全県的に実施しています。

1 事故の概要

- (1) 発生日：9月6日（土）午前10時15分頃
- (2) 発生場所：伯耆町番原 ビニールハウス出入口付近
- (3) 事故者：伯耆町 男性 80代
- (4) 事故概要：
 - ・事故当日はビニールハウス内で歩行型管理機を使用して畝立て作業を実施。
 - ・作業終了後に管理機をハウスの入り口付近に移動したところ、何らかの原因で管理機のロータリー部分に右腕が挟まれ、近くで作業していた妻が叫び声を聞いてすぐにかけつけたが意識不明の状態に救急搬送。
 - ・その後、意識不明の状態が続き、6日後の9月12日（金）に死亡された。※9月18日（木）に警察から情報提供あり事故の概要が判明

2 多発警報の発令

- (1) 発令日：9月24日（水）
- (2) 警報期間：発令日から10月7日（火）まで 14日間
- (3) 発令機関：鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

3 実施する啓発活動

- (1) メディアを活用した広報
 - テレビ：日本海テレビ、山陰中央テレビ、ケーブルテレビのコマーシャル
 - ラジオ：FM山陰、山陰放送のコマーシャル
 - その他：LINE、YouTubeの広告
- (2) 啓発チラシの作成と農業者への配布・伝達
- (3) 行政無線、ホームページ等での周知
- (4) JA営農指導員、農業委員、農業改良普及員、農機販売店等による農業者への注意喚起（上記チラシ等を用いた農業者への伝達、のぼり旗の掲示など）

【参考】

1 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の概要

- (1) 構成：県、JAグループ、農業共済組合、市町村、農機販売店等
会長 谷垣重彦（JA鳥取中央会専務理事）
- (2) 主な活動：農作業安全に関する啓発活動
- (3) 経過：令和4年1月13日に鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の臨時総会を開催し「農作業死亡事故警報及び多発警報」の創設と協議会構成員の拡大（全市町村）を決議した。

2 過去の農作業事故の発生状況（令和7年度は9月30日現在）

| 区分 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 事故数 | 6 | 12 | 6 | 10 | 4 | 15 | 11 | 3 | 15 | 7 |
| うち死亡者数 | 2 | 1 | 1 | 6 | 1 | 7 | 3 | 2 | 1 | 2 |

※各市町村の農作業安全推進員からの報告をまとめたもの

3 県の支援施策 農作業安全対策事業 9,152千円

- (1) 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会事業
 - ・農作業死亡事故警報等緊急啓発活動
 - ・春・秋の農作業安全運動等の啓発活動
 - ・担い手に対する農作業安全講習会
 - ・対話型安全研修会
- (2) 県事業
 - ・農作業安全推進リーダー研修会

米の価格動向について

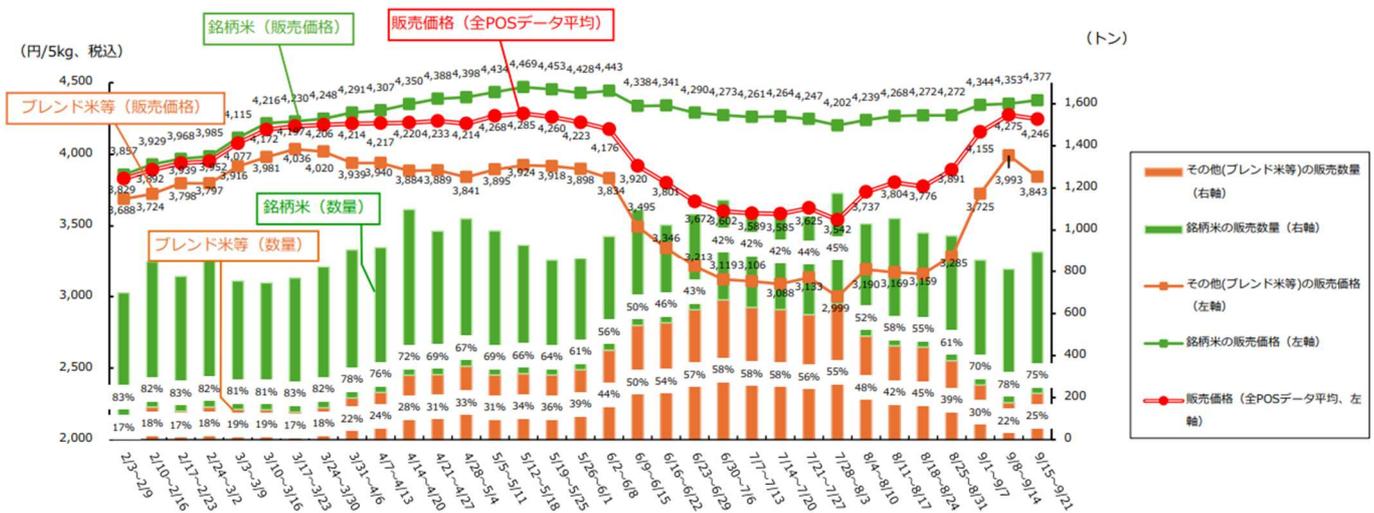
令和7年10月6日
生産振興課
食パラダイス推進課

全国及び県内の米の価格動向について報告します。

1 全国の米の販売価格動向

○9月26日に公表された全国的な米の小売価格（KSP-SP 提供 POS データ）は、9月15日の週の平均価格は4,246円/5kg（税込）で前週から29円下がったものの、3週連続で4,000円/5kg（税込）を超えている。

- ・銘柄米の平均販売価格は前週比+24円の4,377円/5kg（税込）。
- ・ブレンド米等の平均販売価格は前週比▲150円の3,843円/5kg（税込）。
- ・ブレンド米等が占める割合は低下傾向であったが、前週の22%から25%に上昇。（ブレンド米等の比率）
- ・8/18～24：45% → 8/25～8/31：39% → 9/1～9/7：30% → 9/8～9/14：22% → 9/15～9/21：25%



2 県内小売店への調査（聞き取りまたは訪問、書面）概要

(1) 県内の状況（R7.9.27～29 県内小売店10店舗への調査結果

※事業者数ではなく店舗数で記載 ※価格はすべて税込

- 県内の小売店において品薄感はなく、全てのお米において購入制限をかけている店舗はない。
- 現時点で県産コシヒカリ新米の取扱を開始したのは5店舗。
販売価格は5kg 4,500～5,378円（9月12日調査時：1店舗 5,378円）。
- 7月21日調査時、入札備蓄米(表示：ブレンド米又は複数原料米)の入荷は9店舗、随意契約による備蓄米の入荷は8店舗に上っていたが、現時点では入札備蓄米の入荷は1店舗、随意契約による備蓄米の入荷は2店舗のみ。
- 本格的な新米の入荷が始まった中で、今後のR6年産の販売価格の動向については、8月調査時、「当面下がる見込みはない」、「現時点では不明」との回答が大半を占めていたが、今回、4店舗が「上がる見込み」、4店舗が「変わらない」との回答。
- 定点品目であるR6年産県産コシヒカリ5kgの入荷があるのは7店舗。
販売価格は4,622～5,550円（前回調査時：9店舗 4,406円～5,550円）。

(2) 調査対象店舗

県内のスーパーマーケット、ドラッグストア等（10店舗）

- { 東 部 } 2店舗
- { 中 部 } 1店舗
- { 西 部 } 2店舗
- { 広域展開 } 5店舗

(3) 調査方法及び項目

購入制限、在庫状況、入荷状況、価格動向（見込み）、店頭価格 等

日本海ズワイガニ五府県 PR 協議会の発足について

令和7年10月6日
水産振興課
漁業調整課

令和7年10月6日に、石川県から鳥取県まで5府県の底曳網漁業関係者、行政及び研究機関は、「日本海のズワイガニ」を消費者に正しく理解していただくため、「日本初」の広域連携 PR 協議会「日本海ズワイガニ五府県 PR 協議会(事務局:(一社)全国底曳網漁業連合会)」を発足します。

記

1 背景 ズワイガニは、冬の味覚の代表として珍重されており、各地でブランド化されて旅館、飲食店、スーパーなどで幅広く利用されているが、令和5年に北海道で大量発生したオオズワイガニが全国的に流通するようになり、北陸から山陰でズワイガニの底曳網漁業を営む漁業者は、消費者がオオズワイガニをズワイガニと誤解することで、ズワイガニ消費への影響等を懸念していた。

2 協議会の概要

(1)名称 日本海ズワイガニ五府県 PR 協議会(発足日:令和7年10月6日)

(2)構成 石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県の関係漁業者、行政機関、研究機関、(一社)全国底曳網漁業連合会

(3)目的 日本海ズワイガニ5府県では、漁業、流通販売、観光、飲食業等に関わる全ての人々が、ズワイガニの資源管理に携わっており、その先進的な取組を一体的に PR することで、消費者に対して取組への共感とズワイガニを選択するきっかけを与える。

(4)取組内容(予定)

1)日本海ズワイガニ五府県 PR 協議会の発足発表会

・日 時:令和7年10月6日(月) 午後3時半から(時間は前後します)

・場 所:神戸ポートピアホテル

・参加者:石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県の底曳網漁業関係者、行政機関、研究機関、(一社)全国底曳網漁業連合会

※今漁期の期間や資源管理の取組を決める「ズワイガニA海域(富山県～島根県)特別委員会」終了後に発表予定。

2)PR 共通キャッチコピーの設定(10月6日に発表予定)

キャッチコピー:「日本海の蟹守人(にほんかいのかにもりびと)」

3)PR 共通ロゴの作成(10月6日に発表予定)

4)日本海ズワイガニ PR 動画の作成(10月6日に発表予定)

日本海のズワイガニを守り伝える人々を軸にした内容

5)「完全保存版!日本海のズワイガニ攻略(仮称)」パンフレットの作成

これを読めば日本海のズワイガニが丸ごとわかる。観光客だけでなく、販売、流通業者も必携のパンフレットを解禁日までに作成、発表する。

(参考)ズワイガニとオオズワイガニの見分け方



ズワイガニ:口がまっすぐ



オオズワイガニ:口が M 型

「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について

令和7年10月6日
食パラダイス推進課

令和7年7月から9月にかけて、食パラダイス鳥取県の推進に係るPRイベント等を下記のとおり行いましたので、次のとおり報告します。

1 国内でのイベント出展等

(1) 「阪急うめだ×宇宙兄弟」で星空舞PR

宇宙の未来をテーマにした阪急うめだの夏休み展示において、子供たちをはじめとする来客に、星取県という切り口で星空舞の宇宙食や砂丘（月面）関連の県産加工品のPR販売を実施した。

ア 実施時期：令和7年7月23日（水）～29日（火）

イ 実施場所：阪急百貨店うめだ本店（大阪府大阪市）

ウ 販売点数：226点

エ 来場者の反応：

- ・鳥取砂丘が月面実証実験の場と関連していることを知って、星空舞の宇宙食を買った。



(2) 「食パラダイス鳥取県」地産地消商談会

地産地消の推進と県内生産者の販路開拓を目的として、県内量販店、百貨店等のバイヤーと、県内生産者・加工事業者とのマッチング商談会を開催した。試食の提供を行いながら、商品の特徴やこだわりについてPRを行い、早いものでは翌週から新規取り扱いで店頭に並んだ商品もあった。

ア 実施時期：令和7年7月31日（木）

イ 実施場所：倉吉体育文化会館

ウ 参加事業者数：バイヤー7事業者、セラー17事業者

エ 参加者の反応：

- ・地元の知らなかった良い商品を知る機会となった。（バイヤー）
- ・取扱いに向けて前向きに検討したい。（バイヤー）
- ・県内の幅広い地域のバイヤーの方と出迎え、新規エリアの販路開拓ができた。（セラー）
- ・生産はできるが売り方がわからないので、このような機会ありがたい。（セラー）



(3) 「ことりっぷ旅するカフェ とっとり梨」開催

女性向け旅情報を発信する旅行ガイドブック「ことりっぷ」において、梨をテーマとしたタイアップ記事を掲載するとともに、タイアップイベントとして、東京・池袋パルコにある「HIS The ROOM of journey IKEBUKURO」にて、梨ドリンクの提供、観光スポットや民藝品の展示を実施。加えて、1日限定で4種の梨（二十世紀、新甘泉、なつひめ、秋栄）の食べ比べや、梨をテーマにした1泊2日のとっとり旅プランを紹介するワークショップを開催した。ワークショップでは、高級フルーツ店「新宿高野」が提供している新甘泉スイーツ及び鳥取県大山町の有機栽培認定茶園「陣構茶生産組合」の有機紅茶を提供し、鳥取の味も楽しんでいただいた。

ア 実施時期：令和7年8月29日（金）～9月28日（日）

イ 実施場所：HIS The ROOM of journey IKEBUKURO
（東京・池袋パルコ本館2階）

ウ ワークショップ参加者：26人（旅行好きな女性、20～50代）



エ 来場者の反応：

- ・梨がたくさん食べられて幸せ。特に新甘泉が格別に美味しかった。新宿高野のデザートも絶品。
- ・二十世紀梨が美味しい。もっと関東でも出回って欲しい。
- ・鳥取に行ったことがないけれど、絶対行きます。



2 大阪・関西万博における「食パラダイス鳥取県」のPR

県産ワイン及び県産ワインとのペアリングにお薦めの県産加工品のPR販売を実施した。各ワイナリーの醸造家が語るワイナリーの特色やワイン造りのビハインドストーリーに耳を傾けながら、県産ワインと県産加工品のペアリングを体験いただく試飲付きセミナー（有料）が好評を博した。国内のみならず世界に向けて「食パラダイス鳥取県」をPRするとともに、県産ワインの可能性を確信する機会となった。

ア 実施時期：令和7年8月28日（木）～9月12日（金）

イ 実施場所：大阪・関西万博会場内

ORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」

ウ セミナー参加者数：841人

エ 販売点数 6,136点（うちワイン商品2,049点）

オ 来場者の反応：

- ・鳥取県でワインが醸造されていることを知らなかった。（セミナーで飲んだ）ワインが非常に美味しかったので、次は鳥取に行き、ワイナリー巡りをしたい。
- ・鳥取といえば蟹、梨、白バラ。美味しいものが揃っている。万博会場で鳥取県産品が購入できてうれしい。



県内ワイナリーによるセミナー風景

3 やきとり JAPAN フェスティバル in 倉吉の開催について

全国の焼き鳥の名店が集う日本最大級の焼き鳥イベント「やきとり JAPAN フェスティバル in 倉吉」が9月27日（土）、28日（日）に開催され、大盛況に終わりました。2日間の来場者数は94,500人となりました。

ア 主催：やきとり JAPAN フェスティバル in 倉吉実行委員会

イ 開催日：令和7年9月27日（土）、28日（日）

ウ 会場：鳥取県立美術館前大御堂廃寺跡芝広場（倉吉市駄経寺町）

エ 来場者数：94,500人（1日目 39,500人、2日目 55,000人）

オ 出展店舗：焼き鳥店19店舗、地元店26店舗

- ・長州どりの長門「ちくぜん総本店」、丸亀骨付鳥の「玄奥（げんおう）」、豚肉・玉ねぎ・洋がらしの室蘭スタイル「一平」など、全国各地の本場有名焼き鳥店が15店舗
- ・鳥取県内の焼き鳥店は4店舗（鹿野地鶏、北の大地、とり甚、とぎの屋）
- ・地元店は地ビール、牛骨ラーメン、スイーツ 等

カ ステージ：日本海テレビ「スパイス！！」生中継、地元ダンス

チーム、地元バンド、伝統芸能（牛追掛節）、ご当地ヒーローショー（イナバスター） 等

キ 来場者の反応：

- ・兵庫県から、やきとり JAPAN フェスティバルのためにやって来た。全国各地の焼き鳥を目当てに来たが、鳥取の地鶏も美味しかった。焼き鳥以外にも地元グルメのお店がたくさんあって、大満足。



4 今後の対応

インバウンドの順調な回復や国際定期便の就航開始などの機会を捉え、関係団体等と連携を図りながら食パラダイス鳥取県の魅力を発信し、国内外での誘客につなげる。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年10月6日
農地・水保全課

【新規分】

| 主務課 | 工事名 | 工事場所 | 契約の相手方 | 契約金額 | 工期 | 契約年月日 | 入札方法 |
|----------------------|------------------------|------------------|-------------|------------------------|----------------|-----------|-----------------------|
| 農地・水保全課 (東部農林事務所) | 西谷第2地区ため池整備 工事(1工区) | 八頭郡 八頭町 西谷 | 株式会社 トラスト | 107,030,000円 | 令和7年9月19日 | 令和7年9月19日 | 制限付 一般競争入札 (7社) |
| | | | 代表取締役 倉持 崇広 | (予定価格) 116,519,700円 | ~ 令和8年7月27日 | | |

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年10月6日
農地・水保全課

【変更分】

| 主務課 | 工事名 | 工事場所 | 契約の相手方 | 契約金額 | 工期 | 契約年月日 | 変更理由 |
|-------------------------|-----------------|------------------|-------------------------------|---|-----------------------------|---------------------------|--|
| 農地・水保全課 (西部総合事務所農林局) | 富江地区ほ場整備(1工区)工事 | 西伯郡 伯耆町 富江 | 株式会社 ティー・エム・エス 代表取締役 水町 直允 | (当初契約額) 101,200,000円 | 令和6年8月13日 ～ 令和7年3月24日 | (当初契約年月日) 令和6年8月9日 | |
| | | | | (第1回変更後契約額) 140,388,600円 (変更額) 39,188,600円 | 令和6年8月13日 ～ 令和7年8月8日 | (第1回変更契約年月日) 令和7年3月24日 | ・早期のネギ作付けを要望される農家が多く、次年度工事で予定していた表土戻しについて、前倒し施工する必要が生じたことによる工事費の増額。 ・工事用進入路が営農作業車両と重複するため、調整を行ったことによる工期の延伸。 |
| | | | | (第2回変更後契約額) 141,564,500円 (変更額) 1,175,900円 | 令和6年8月13日 ～ 令和7年9月30日 | (第2回変更契約年月日) 令和7年8月8日 | ・基盤造成中に発生した既設建造物の処分量の精査に伴う工事費の増額。 ・渇水対策として農作物への散水作業を行うため、営農者から工事区域内道路の走行を求められ、工程調整を行ったことに伴う工期の延伸。 |
| | | | | (第3回変更後契約額) 149,275,500円 (変更額) 7,711,000円 | 令和6年8月13日 ～ 令和7年9月30日 | (第3回変更契約年月日) 令和7年9月19日 | ・次年度に施行を予定していた排水路について、地元から早期着工の強い要望が出たため、前倒し施工をしたことによる工事費の増額。 |